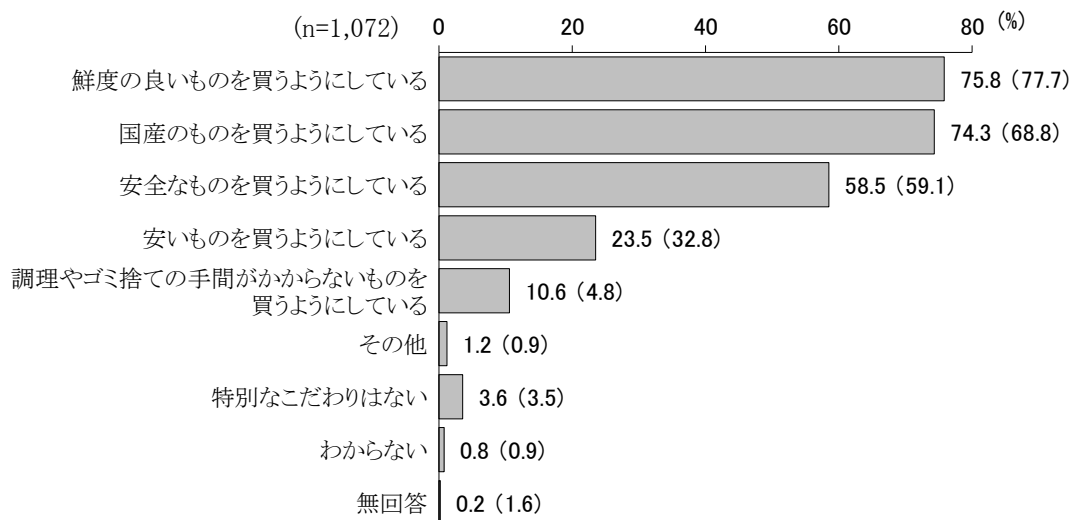


VIII 農林水産物の購入に関する意識

1. 農林水産物の購入時に気にかけていること

－「鮮度の良いものを買うようにしている」と「国産のものを買うようにしている」が7割台半ば－

問21 農林水産物を購入するときに、気にかけていることは何ですか。次の中から、あてはまるものを3つまで選んでください。



※()内の数値は、平成28年の調査結果

農林水産物の購入時に気にかけていることとしては、「鮮度の良いものを買うようにしている」(75.8%)と「国産のものを買うようにしている」(74.3%)が7割台半ばで高く、次いで、「安全なものを買うようにしている」(58.5%)が5割台で続いている。

－「国産のものを買うようにしている」と「調理やゴミ捨ての手間がかからないものを買うようにしている」が約6ポイント増加－

前回調査(昨年)と比べると、「国産のものを買うようにしている」と「調理やゴミ捨ての手間がかからないものを買うようにしている」がそれぞれ約6ポイント増加している。一方、「安いものを買うようにしている」は約9ポイント減少している。

－県央と鹿行で「安全なものを買うようにしている」が6割台後半－

地域別でみると、「安全なものを買うようにしている」は、県央(67.2%)と鹿行(65.9%)で6割台後半と高くなっている。

－女性で「国産のものを買うようにしている」が男性よりも約10ポイント、「鮮度の良いものを買うようにしている」が男性よりも約9ポイント高い－

性別でみると、「国産のものを買うようにしている」は、女性(79.1%)が男性(68.9%)よりも約10ポイント、「鮮度の良いものを買うようにしている」は、女性(80.0%)が男性(71.3%)よりも約9ポイント高くなっている。

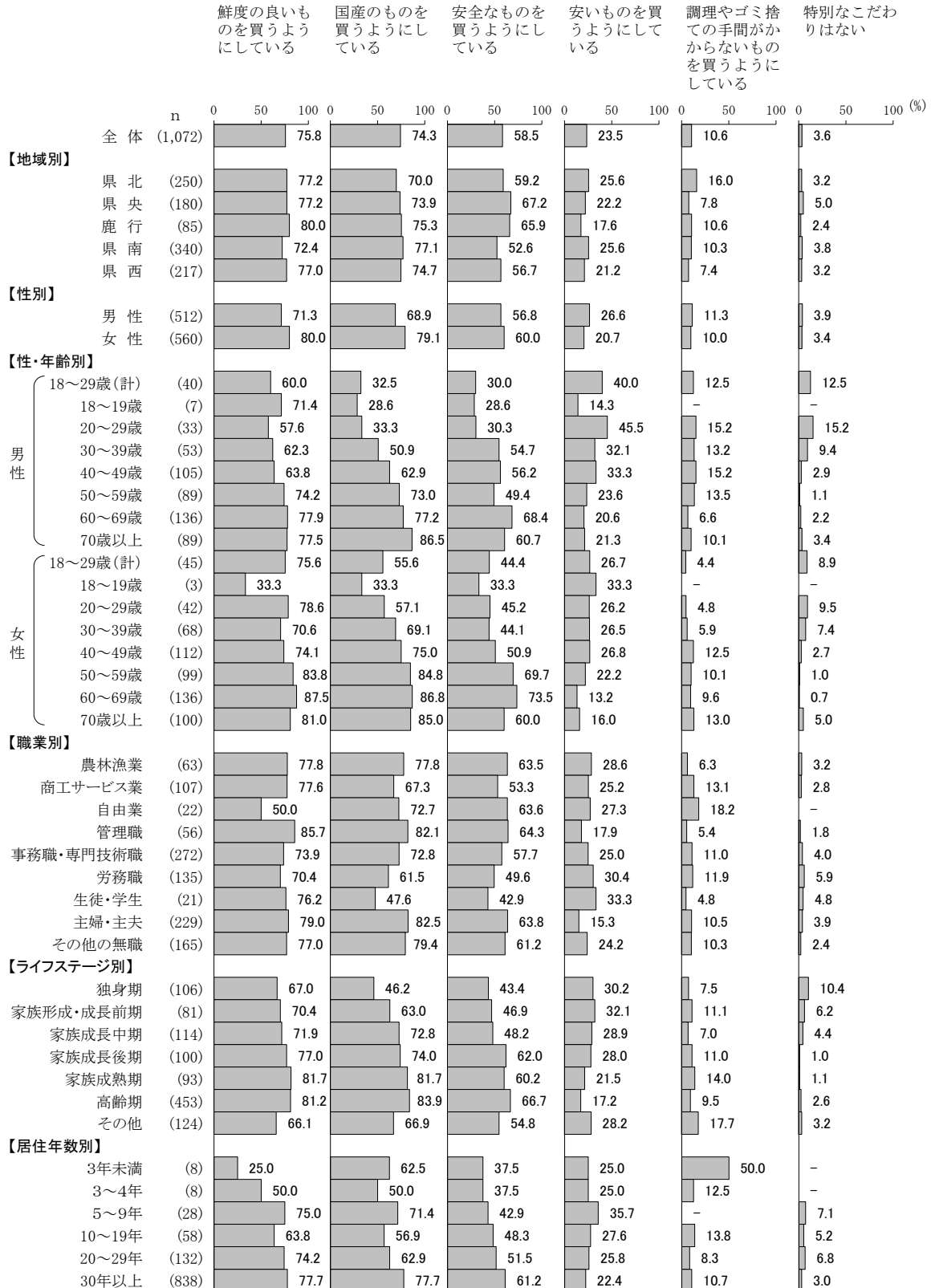
－女性の60代で「鮮度の良いものを買うようにしている」が約9割－

性・年齢別でみると、「鮮度の良いものを買うようにしている」は、女性の60代(87.5%)で約9割と最も高く、次いで、女性の50代(83.8%)で8割台半ばと高くなっている。

一男性の70歳以上，女性の50代以上で「国産のものを買うようにしている」が8割台半ば一

性・年齢別でみると，「国産のものを買うようにしている」は，男性の70歳以上（86.5%），女性の50代（84.8%），60代（86.8%），70歳以上（85.0%）で8割台半ばと高くなっている。

図Ⅷ 21-1 農林水産物の購入時に気にかけていること
(地域別，性別，性・年齢別，職業別，ライフステージ別，居住年数別)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では，18~19歳，20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

表Ⅷ 21-1 農林水産物の購入時に気にかけていること
(前回調査との比較-上位5項目)

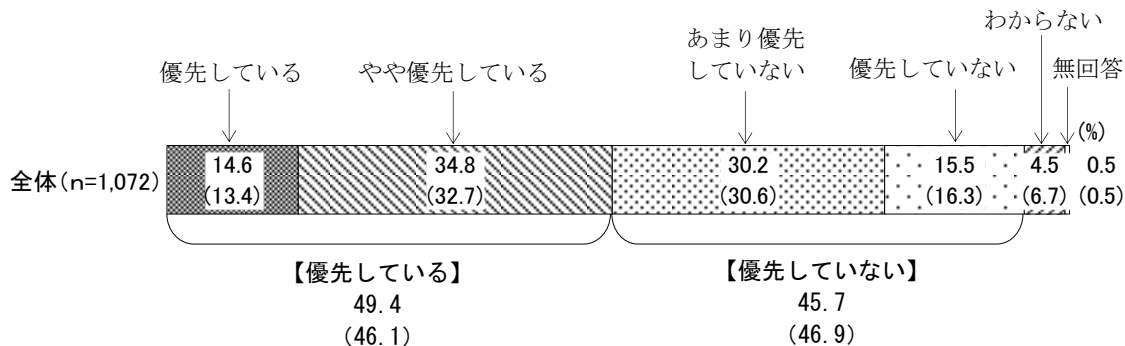
(単位：%)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H29) n=1,072	鮮度の良いものを買うようにしている 75.8	国産のものを買うようにしている 74.3	安全なものを買うようにしている 58.5	安いものを買うようにしている 23.5	調理やゴミ捨ての手間がかからないものを買うようにしている 10.6
前回調査 (H28) n=1,093	鮮度の良いものを買うようにしている 77.7	国産のものを買うようにしている 68.8	安全なものを買うようにしている 59.1	安いものを買うようにしている 32.8	調理やゴミ捨ての手間がかからないものを買うようにしている 4.8

2. 農林水産物の購入時における茨城県産の優先度

－【優先している】は約5割－

問22 あなたは、農林水産物を購入する際、茨城県産を優先して購入していますか。次の中から、一番近いものを1つだけ選び、理由をお聞かせください。



※()内の数値は、平成28年の調査結果

農林水産物の購入時における茨城県産の優先度としては、「優先している」(14.6%)と「やや優先している」(34.8%)を合わせた【優先している】(49.4%)は約5割となっている。一方、「あまり優先していない」(30.2%)と「優先していない」(15.5%)を合わせた【優先していない】(45.7%)は4割台半ばとなっている。

－【優先している】が約3ポイント増加－

前回調査(昨年)と比べると、【優先している】が約3ポイント増加している。

－鹿行で【優先している】が約4割－

地域別でみると、【優先している】は、鹿行(37.6%)で約4割と低くなっている。

－女性で【優先している】が男性よりも約14ポイント高い－

性別でみると、【優先している】は、女性(56.2%)が男性(41.8%)よりも約14ポイント高くなっている。

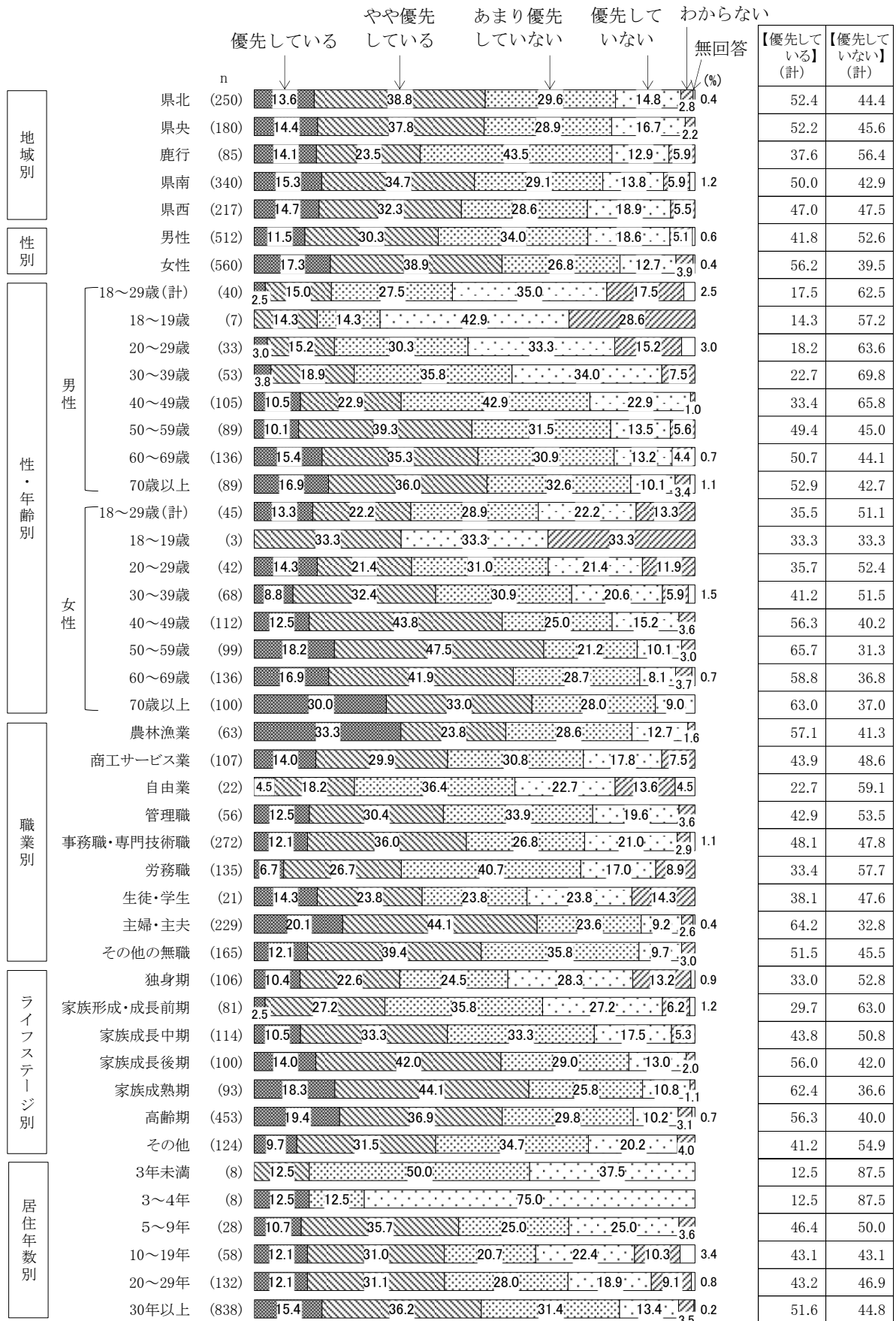
－女性の50代と70歳以上で【優先している】が6割台半ば－

性・年齢別でみると、【優先している】は、女性の50代(65.7%)と70歳以上(63.0%)で6割台半ばと高く、次いで、女性の60代(58.8%)で約6割となっている。

－主婦・主夫で【優先している】が6割台半ば－

職業別でみると、【優先している】は、主婦・主夫(64.2%)で6割台半ばと最も高くなっている。

図Ⅷ 22-1 農林水産物の購入時における茨城県産の優先度
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)

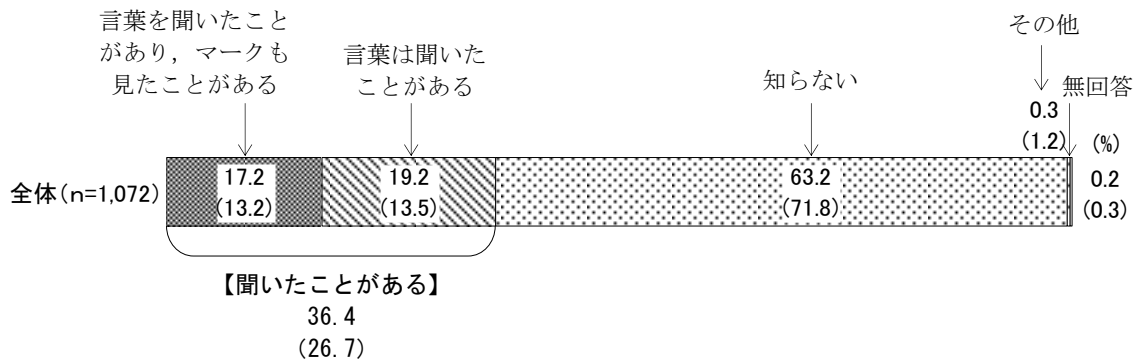


(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

3. 「茨城をたべよう運動」の認知度

－【聞いたことがある】は3割台半ば－

問23 「茨城をたべよう運動」を知っていますか。次の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



※()内の数値は、平成28年の調査結果

「茨城をたべよう運動」の認知度としては、「言葉を聞いたことがあり、マークも見たことがある」(17.2%)と「言葉は聞いたことがある」(19.2%)を合わせた【聞いたことがある】(36.4%)は3割台半ばとなっている。一方、「知らない」(63.2%)は6割台半ばとなっている。

－【聞いたことがある】が約10ポイント増加－

前回調査(昨年)と比べると、【聞いたことがある】が約10ポイント増加している。

－県央と県北で【聞いたことがある】が4割超－

地域別でみると、【聞いたことがある】は、県央(42.2%)と県北(42.0%)で4割を超えて高くなっている。

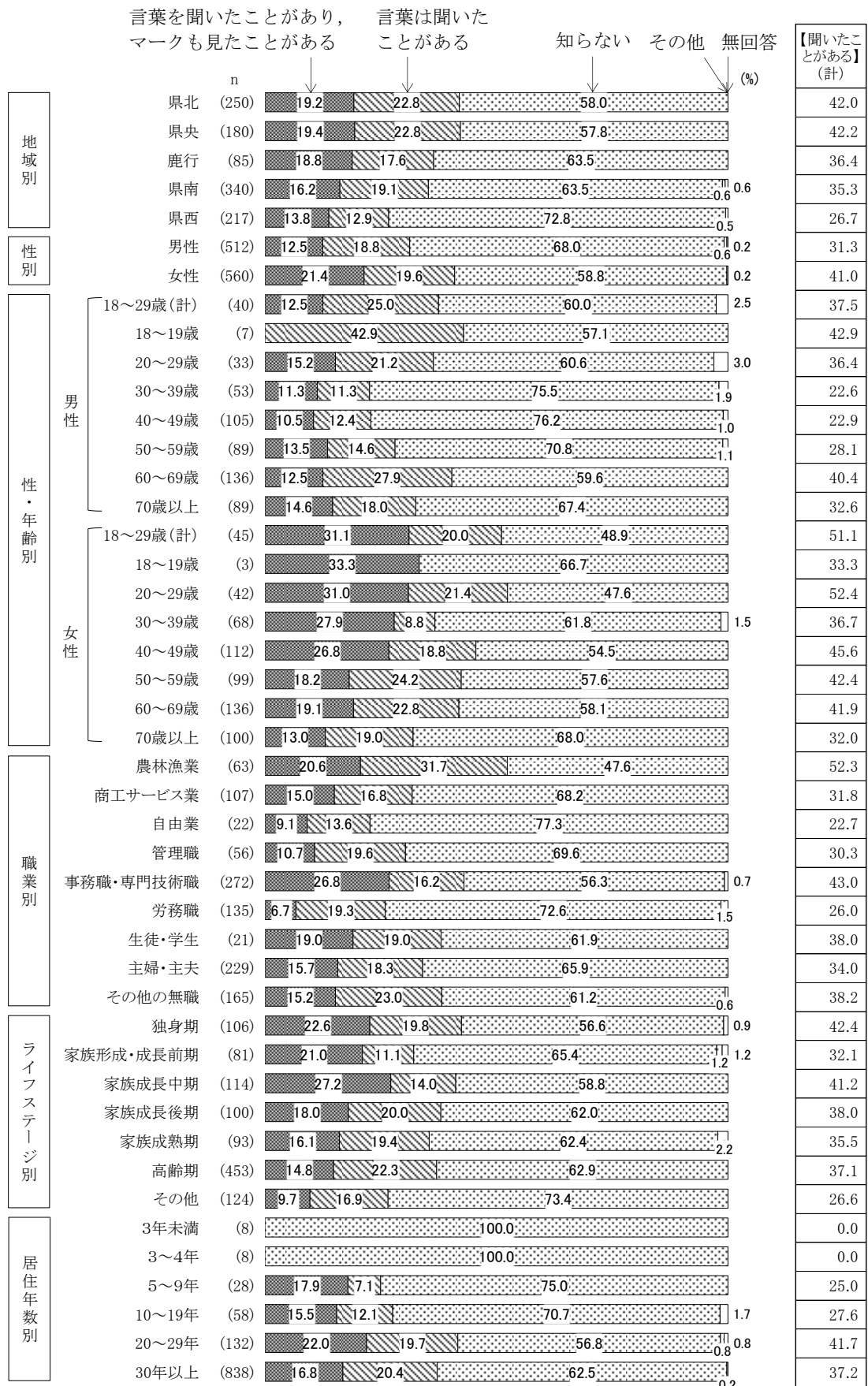
－女性で【聞いたことがある】が男性よりも約10ポイント高い－

性別でみると、【聞いたことがある】は、女性(41.0%)が男性(31.3%)よりも約10ポイント高くなっている。

－女性の18～29歳で【聞いたことがある】が5割超－

性・年齢別でみると、【聞いたことがある】は、女性の18～29歳(51.1%)で5割を超えて最も高く、次いで、女性の40代(45.6%)で4割台半ばと高くなっている。

図Ⅷ 23-1 「茨城をたべよう運動」の認知度
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。